

## 第 1 回浦和区区民会議 議事録（確定版）

1 日 時：平成 17 年 5 月 8 日（日） 10:00～12:00

2 会 場：市民会館うらわ 101 集会室

### 3 出席者（敬称略）

団体推薦：新井幸芳（青少年育成さいたま市民会議）、大関豊壽（浦和歯科医師会）、小川晃（埼玉中央青年会議所）、小原茂（浦和区自治会）、柿堺一二三（浦和区民生・児童委員協議会）、坂場きみ（地区社会福祉協議会）、坂本和哉（浦和区自治会連合会）、大工原潤（元市民懇話会）、大郷恒吉（北浦和GINZA レッズ商店街）、中島昌男（さいたま市薬剤師会）、東一邦（さいたま NPO センター）、藤倉幸親（浦和商工会議所）、水谷元雄（浦和医師会）、吉野勝則（さいたま市 PTA 協議会浦和区連合会）

公募委員：一柳晶子、樫田範子、岡野昭夫、鈴木隆吉、山本信子

コミュニティ会議委員：秋山忠一（北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブをつくる会）、岡田唯文（コミュニティキャンパス浦和）、丸山繁子（さいたま市リサイクル女性会議・浦和）、吉岡基代（浦和区四星会）、渡辺修（中山道浦和宿二七の市実行委員会）

宮澤健二浦和区長

事務局：小泉俊一（総括参事）、白石清（区民生活部長）、磯部弘（健康福祉部長）、長島光正（コミュニティ課長）、三枝政幸（調整主幹）、丸山彦文（主幹）、金子秀行（副主幹）、石渡裕夫（主査）、大嶋幸子、小宮慶太（主任）

運営補助：福田律子、安井英人（システム科学コンサルタンツ株）

### 4 次第

浦和区長あいさつ

浦和区区民会議委員の紹介式

第 1 回区民会議

1. 開会

2. 議事

(1) 仮議長の選出について

(2) 会長、副会長の選出について

(3) 第 1 期区民会議の活動状況について

区民会議の役割について

コミュニティ会議の概要及び認定団体の報告について

区民会議・コミュニティ会議のフローについて

(4) 部会の設置について

(5) まちづくり推進事業に係る 17 年度予算について

(6) 次回開催日程について

(7) その他

3. 閉会

## 5 内容

### 開会にあたって

会議開催に先立ち、宮澤健二浦和区長より挨拶があった。  
挨拶に引き続き、委員の紹介式及び事務局の紹介が行われた。

### 議事概要

- (1) 仮議長の選出について  
坂本委員を仮議長に選出した。
- (2) 会長、副会長の選出について  
推薦により、坂本委員を会長、大郷委員と丸山委員を副会長として選出した。
- (3) 第1期区民会議の活動状況について  
事務局より、資料として配布した「浦和区区民会議 平成16年度活動報告書」に基づいて、以下の説明があった。

### 区民会議の役割について

事務局：報告書については、区の色に決定した赤い表紙で作成した。

区民会議の主な役割は、区民会議の活動の目的として示した、浦和区のまちづくりを推進する上での対処すべき諸課題についての協議および政策提言、浦和区民と行政の協働による魅力あるまちづくりの推進のための活動、その他浦和区の健全な発展に寄与する活動の3つである。

については、第1期では、年間約1億円のまちづくり推進事業費及びコミュニティ会議に関する検討、都市計画マスタープランや緑の基本計画などの各種計画についての意見交換、さらに市政に対する要望などを行った。市政に対する要望としては、平成15年度には、市民活動サポートセンターの設置、(仮称)「区民の家」の整備、岸町公民館の移転と拡充、常盤公園の利用法、旧大原中学校跡地の活用、16年度には、公民館予約制度の見直し、敬老祝い品の廃止及びお祝いカードへの変更、地域におけるボランティア登録制度の研究・創出があげられた。

については、区発行の「タウンガイドうらわ(区勢要覧)」の編集や浦和区まちづくり推進プランの原案づくりに協力頂いた。

については、コミュニティ会議と連携しながら、第1期ではパンフレットの作成や祭りの広報などを行った。

第1期は、以上のような活動を3つの部会で進めた。

### コミュニティ会議の概要及び認定団体の報告について

事務局：コミュニティ会議とは、区内において広くまちづくりを行う団体で、区長の認定を受けたものである。認定状況としては、平成15年度に24団体で約1,900万円、さらに16年度には3団体が加わり、約1,600万円の補助を行った。このうち2か年継続して申請があり、支援したのは13団体である。

## 区民会議・コミュニティ会議のフローについて

事務局：浦和区では、コミュニティ会議の認定を受けた団体は区民会議で事業計画を説明した上で、補助金が交付される仕組みとなっている。また、区民会議では、コミュニティ会議への支援の仕方等について検討しており、区民会議とコミュニティ会議は連携、協働する仕組みとなっている。

議長：すぐに報告書を読んで理解するのも大変だと思う。以上の事務局の説明に対し、特に質問がなければ、今後確認しながら進めていくこととしたい。

### (4) 部会の設置について

事務局より、資料として配布した「浦和区区民会議 平成 16 年度活動報告書」に基づいて、以下の説明があった。

事務局：第 1 期では、企画、運営、広報の 3 部会を設置し、各部会で部会長を選出した上で、部会長が各部会の活動内容を区民会議で報告、全員で協議するというかたちで活動を進めた。なお、企画部会は、総合振興計画やその他の計画、区のまちづくり推進プラン及びその基礎調査など、運営部会は、区民会議の運営方針やコミュニティ会議との連携のあり方など、広報部会は、区のガイドマップや区勢要覧、区報、区民会議の PR、活動報告書などについて検討した。

この中で、企画部会については、主要課題だった区の将来像や区の魅力あるまちづくり推進プランが終了したため、事務局としては、第 2 期では運営部会と合体し企画・運営部会とし、広報部会との 2 部会構成ではどうかと考えている。なお、委員には 1 人 1 部会に所属して頂きたいと考えている。ご意見を伺いたい。

議長：では、まず、第 1 期の経緯をご存知の再任の委員に伺いたい。

委員：確かに第 1 期で企画部会が担当した課題は終了したが、運営部会と合同になると、運営部会はコミュニティ会議への対応が主なため、それ以外の課題が出てきたときに負担も大きくなるし、会議の焦点もあいまいになるのではないかと。新たな課題がなければ企画部会設置の意味もないが、コミュニティ会議関連については別の方が良いような気がする。

委員：まあ賛成であるが、皆さんの意見を伺い、一任したい。

委員：運営部会ではコミュニティ会議の事業費等についても検討しており、やはり 1 つの部会がある程度専門的に担当しなければ大変なのではないか。

委員：今期の企画部会は何を企画するのかポイントがよくわからないので、それだけだと会議が開かれなくなるかもしれない。また、企画・運営部会にして、コミュニティ会議に関することを別にすると、第 1 期の構成で部会の名前が変わるだけになる気もする。

委員：運営部会はコミュニティ会議及びその事業費の検討にかなりの時間をかけなければならなかった。また、確かに企画部会を恒常的に持つのは難しいかもしれない。必要なときに企画機能としての作業部会などを柔軟につくってはどうか。

委員：第 1 期の企画部会は熱心に議論してきたが、一段落したと考えている。新たに企

画すべき内容が出てきたときには、運営、広報部会それぞれで考えていくようにした方が良い。

委員：各部会とも夜遅くまで開催しており、新たな事項について検討していくことは難しい。企画部会は残してはどうか。

委員：今まで通り、残してはどうか。他の部会メンバーもオブザーバーとして出席し意見を言えた方が良い。

委員：部会は人数が多いと話がまとまらない。10人程度の3部会で良い。

議長：では、次に新しい委員の意見を伺いたい。

委員：企画部会の仕事は大体終わったという説明があったが、企画機能はいつまた必要になるかわからない。必要だと思う。

委員：今後、まとめられたものを実行していく上で、議論していく場が設けることは大事である。その議論を踏まえ、区としてどのように重点化していくかを判断することになると思う。

委員：部会の役割分担についてはよくわからないが、今期の取り組み方として、この報告書を活かしながら、今後の浦和区を具体的にどのようにしていくのか、議論する場が必要だと思っている。

委員：企画部会でプランを作ったのは素晴らしいが、今後はどう実行されていくかが重要である。それをチェックし、さらに提言していく必要があるだろう。そのため部会が必要ではないか。

委員：福祉分野に知人が多いが、区民会議について知っている人はまだ少ない。困っている人たちのためのまちづくりを進めるためにも、より多くの人に活動を知ってもらうことは重要であり、それが広報部会だけの役割であるのは問題のような気がする。まだ、企画機能のような全体を見通す役割は必要ではないか。

委員：報告書に部会の説明があるが、ここに書かれた役割は主なもので、本来はもっとあるのではないか。2つの部会を一緒にして良いのだろうか。

議長：では、3部会は必要であるという意見が多かったようなので、それでよろしいか。

委員：(拍手)

事務局：では、第2期も3部会でスタートすることとする。1人1部会に所属して頂くので、配布する希望調査票にご記入の上、今月中に事務局まで送付頂きたい。なお、人数が偏った場合には次回再調整する。

議長：第1期では、部会長しかいなかったが、副部会長も必要であり、選出していきたい。

#### (5) まちづくり推進事業に係る17年度予算について

事務局より、資料として配布した「平成17年度浦和区におけるまちづくり推進事業費」に基づいて、以下の説明があった。

事務局：まちづくり推進事業費は、区民のニーズに応じて独自に使い道を考えることのできる予算であり、各区均等割りの5千万円と人口・面積比で割り振った予算の合計から成る。平成17年度は昨年度と同額であり、浦和区は107,630千円となっている。その内訳は、区民会議の活動支援などのまちづくり基本経費(3,855千円)、区の広報や防犯啓発事業、コミュニティ活動の支援などのまちづくり

事業経費（30,126千円）、道路・交通安全施設や下水道の緊急補修などの 市民満足度アップ経費（73,649千円）の3つに分かれている。

(6) 次回開催日程について

6月の第2回については18日（土）午後2時からとし、7月の第3回については希望を確認の上、決定することとなった。

(7) その他

今後、委員相互で連絡を取り合えるよう、各自の了解の範囲内で連絡先を交換したい旨、委員より要望があり、所属部会の希望調査において連絡先についても照会することとなった。

以上